

## 早期米



令和 8 年 7 月 3 日  
JA 糸 島 農 畜 産 課  
福岡普及指導センター

### いもち病・イネカメムシ 発生情報

糸島管内の早期米で、いもち病・イネカメムシが発生しています。葉いもちは穂に感染する可能性が高いです。また、暖冬であったため今年のイネカメムシの発生数は多いと予想されます。

いずれも減収の原因となる病害虫であり、初期の防除が肝心です！  
以下の薬剤を参考に、出穂期を目安として確実に防除しましょう。

(農薬登録情報 2026 年 6 月 24 日時点)

#### 【いもち病防除】

農薬名		使用量 (/10a)	収穫前日数
粉剤	ノンブラス粉剤DL	3～4kg	7日前
液剤	ブラシンフロアブル	1,000倍 (60～150L)	7日前
ジャンボ	フジワンパック ※穂いもち：出穂10～30日前処理	750g (10個)	14日前

#### 【イネカメムシ防除】

農薬名		使用量 (/10a)	収穫前日数
粉剤	エクシード粉剤DL	3kg	7日前
液剤	エクシードフロアブル	2,000倍 (60～150L)	7日前
粒剤	キラップ粒剤	3kg	14日前
豆つぶ剤	スタークル豆つぶ	250g	7日前

※粒剤や豆つぶ剤は効果発揮に時間がかかるため、出穂期 5～7 日前に散布してください。

※イネカメムシは集団で移動する性質があるため、場所により発生状況が異なります。本田での発生状況を確認して散布して下さい。